

皆様、如何お過ごしでしょうか？

10月のUWP Japan Reunionから新しくスタートしたUWP日本同窓会。振り返ってみるとこの短い間にCS活動や新人オリエンテーション等のUWPサポート活動、フリマでのファンドレイジング、ニュースレター発行など等色々活動してきました。とりあえずは無事にJAC (Japan Alumni Club) を再スタートさせることが出来たと思います。

2003年度を無事に終え、新年度をスタートするにあたって、2003年度の決算報告や新役員の選出等を行う総会が必要です。ところが、実際に総会の場を設けて人が集まるという事も簡単ではありません。全国、そして海外にも広がる同窓生の1割も集まる事が難しい状況です。そこで今年はより多くの皆様に簡単に参加いただけるよう、ニュースレター第2号でもお伝えしたとおり郵送での議決を行う事にしました。組織として総会という機能は必要ですが、それ自体が目的ではなく、これまでやってきたような色々な活動、同窓生どうしのネットワーキングがJAC活動の本来の目的です。その意味で、今回の総会はシンプルにしました。

今回の議案として以下の3点があります。

- 議案1. 2003年度決算報告の承認
- 議案2. 会則改正案の承認
- 議案3. 2004年度役員の選出

これに伴い、これまで総会で行っていた新予算案の承認は新役員会発足後となります。新役員会で2004年度の活動計画を検討し、それに基づいた予算案を作成して皆様にお諮りすることとします。

今回の新役員候補者は会長候補者が1名、副会長候補者が6名です。副会長は推薦が主なため、全員まとめてのご検討をお願いします。なお、特別役員については新役員会の活動方針に基づいて候補者を選定することになります。

また、同封の決算報告の通り、支出の殆どがニュースレター等の発送費用になっています。今後は出来るだけこの郵送費用による支出を減らすため、Eメールやホームページを使った通信に移行して行きたいと考えています。もし全員にEメールで発送することが出来たら、それだけで1回あたり約3万円も節約でき、他の活動費用や、奨学金準備金等へ回す等、皆様の会費をより有効に活用する事が出来ます。ぜひ趣旨をご理解の上、同封の返信用ハガキへのEメールアドレス記入にご協力ください。尚、返信/回答の無い方で、JAC、UWPの活動を通じてこちらでEメールアドレスを把握している場合、郵送に代わってそちらのアドレスへ配信させていただきます。ご了承下さい。

以上を踏まえて、議案の承認とEメールでの通信希望等について、同封の返信用ハガキにご記入いただいた上で**7月31日(土)まで**にご返送をお願いします。新年度、新体制のスタートに当たって、円滑な運営のために皆様のご協力が必要です。各議案をご検討いただき、必ずご返送下さい。Fax、Eメールでも返信可能です。なお、海外在住の方の分につきましては、返信用切手を貼っておりません。お手数ですが、Fax、又はEメールでご返送ください。よろしくお願いいたします。

返信先 Fax 番号：043- 302- 1633

返信先 E メールアドレス：JAC@upwithpeoplejapan.gr.jp

昨年10月からJACの活動に色々係わって来られて、とても嬉しく思います。本当に色々な人に会うというのは財産だなあと、とてもありがたく思っています。特にリーダーとして活動してくれた皆様と一緒に色々カタチにして行けたのはそのプロセスも、出来上がった結果もとても素晴らしい経験でした。多様な皆様に色々教えてもらい、助けられながら面白い活動を色々カタチにしていく事が出来ました。一年に満たない一期でしたが、とても貴重な体験をさせて頂いて感謝しています。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

そしてまた2004年度もJAC会長に立候補します。来期もまた会長として承認して頂ければ、まだまだたくさんJACを通じてやってみたい事があります。自分がJACの活動を通じて得た財産をもっと多くの人たちとシェアしたいと思っています。

具体的な活動としては前回のニュースレターにも書いた「キャンププロジェクト」を少しずつでも、小さな所からでも皆でカタチにしてゆきたいと思っています。また、各コミティ活動についてはその活動スタイル、リーダーやメンバーをどうするかなど、より多くの人が無理なく、楽しく活動できるように改善します。この件については新体制発足後すぐにまとめて、実際の活動へつなげて行きます。

前期に引き続き、JACのテーマは「同窓生のための同窓会」で、もっと同窓生が自分の為に使える、楽しい人とのつながりの場にしてゆきたいと思っています。300人を超えるこのJACのつながりを皆がそれぞれ有意義に活用できるようにして行きましょう。

最後になりましたが、JACからUWP国際同窓会へメンバーシップフィーを払っています。国際同窓会の役員達からもJACの皆様に感謝の意を伝えて欲しいとの事でした。今後も「日本ではこんな活動をしている」という事をもっと海外の同窓生たちにも伝えて、国際同窓会と上手く連携しながら活動してゆきたいと思います。

皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

UWP Japan Alumni Club
会長
河村 甚